

## 「東トルキスタンをめぐる歴史～チンギス・ハーンから毛沢東へ」 (略年表)

840年：モンゴル高原の回鶻ハン国が滅亡、ウイグル人やその他のトルコ系遊牧集団がそれぞれ天山山脈東部で西ウイグル王国、パミール高原西側でカラ・ハン朝を建国

960年：天山山脈南部のカシュガルを拠点とするカラ・ハン朝サトゥク・ボグラ・ハーンはイスラームに改宗

1130年代以降：

西ウイグル王国もカラ・ハン朝も一時西遼（カラ・キタイ）に臣従

1209年：西ウイグル王国はモンゴル帝国に服従を表明。

1212年：カラ・ハン朝はホラズム・シャー朝によって滅ぼされる

1219年：チンギス・ハーンの征西；チンギス・ハーンの死後、モンゴル帝国の支配下にある中央アジアはチャガタイの私領（後にチャガタイ・ハン国）に

1347～48年：ハン国は分裂し、東チャガタイのトゥグルク・テムル・ハーンはイスラームに改宗

1513年：トゥグルク・テムルの孫サイドが天山山脈南部のカシュガル地域にカシュガル・ハン国（後に遷都したためヤルカンド・ハン国）を建国

16世紀末～17世紀半ば：ナクシュバンディーエ教団のイスハーキーヤ派と

イーシャーニーヤ派がウイグル社会に入り、「黒山党」と「白山党」を形成

1678年：天山山脈北部のジュンガル・ハン国はヤルカンド・ハン国を滅ぼす

1755年：清朝がジュンガルを侵攻、そして天山山脈南部のウイグル社会も占領

1762年：清朝は南北を併せて「新疆」（新しい領土）とし、ウイグル社会にてベクを実施

1820年から28年：

「ホージャ・ジハンギールの乱」

1864年：新疆各地でムスリム蜂起、清朝の新疆支配体制は完全に崩壊

1865年：コーカンド将軍ヤクブ・ベクはウイグル地域に入り、翌年に「七城政権」を樹立



新疆最大のカシュガル・エティカールモスク



ヤクブ・ベク

1876年：清朝は「新疆収復」戦争を決行、ベグ制を廃止

1884年：中国内地と同様に省制の導入

1930年代：東トルキスタン独立運動が勃発、33年11月に  
東トルキスタン・イスラーム共和国政府が樹立

1930年代：ソ連が漢人軍閥盛世才への支援を通じて新疆の  
政治を握り、盛は三回の政治粛清で多くの政敵や  
民族エリートを殺害

1944年：盛世才が民国政府に転向、ソ連が支援する第二次  
東トルキスタン独立運動が勃発、  
11月に東トルキスタン共和国政府が樹立



東トルキスタン・イスラーム  
共和国政府樹立会議

1949年8月：

北京へ向かう運動の指導者たちがソ連上空の飛行機墜落で  
全員死亡

1949年10月：

王震将軍が中共軍を率いて新疆に進駐、  
各地の抵抗運動を弾圧



盛世才



「事故」で亡くなった最高指導  
者エホメッドジャン・カスミ



軍を率いて新疆に入ってきた王震将軍

1955年10月：新疆ウイグル自治区が設立

1962年：6.7万人のウイグル人とカザフ人がソ連に亡命するイリ事件が発生

1990年：「バリン郷暴動」

1997年：「イリ暴動」



バリン郷暴動鎮圧に参加する兵団の民兵

2000年：「西部大開発」政策が発表

2001年：「西気東輸」（新疆の天然ガスと石油を東部へ輸送パイプライン）が着工

2002年1月：国政府が白書「東トルキスタン・テロ組織の罪」を発表

2004年6月：上海協力組織が創設、「テロリズムなどに関する上海公約」が発表

2009年：ウルムチでウイグル人暴動（7.5事件）が発生、事件後ウイグル人を大量拘束

2014年11月：習近平政権による「一帯一路」計画

2016年8月：陳全国が新疆共産党書記に着任、  
民族・宗教に対する厳しい弾圧を開始

2018年：百万人以上のウイグルとカザフ人が  
再教育の名目で拘束されていることが  
発覚



7.5事件の弾圧に抗議するウイグル人女性



「再教育キャンプ」に拘束されたウイグル人

2020年6月17日：米国トランプ大統領が「ウイグル人権法案」にサイン

7月9日、米務省と財務省は、陳全国などの新疆高官に対する  
制裁声明を発表